



(株)村田製作所 技術企画統括部 担当課長 牛尾 隆一氏
KRP(株) 成長企業支援部 部長 岡田 直樹
NPO法人京都イノベーション・リソース 理事長 中谷 征司氏
(株)村田製作所 技術企画統括部 広瀬 圭一氏

価値ある技術タッグへの新たな挑戦 オープンイノベーション・マッチング

特集

オープンイノベーション・マッチング



大阪ガス(株) 技術戦略部 オープンイノベーション室 室長 松本 毅氏
KRP(株) 成長企業支援部 マネジャー 國見 章
NPO法人京都イノベーション・リソース 刀根 規久男氏
(株)井元製作所 代表取締役社長 井元 俊之氏

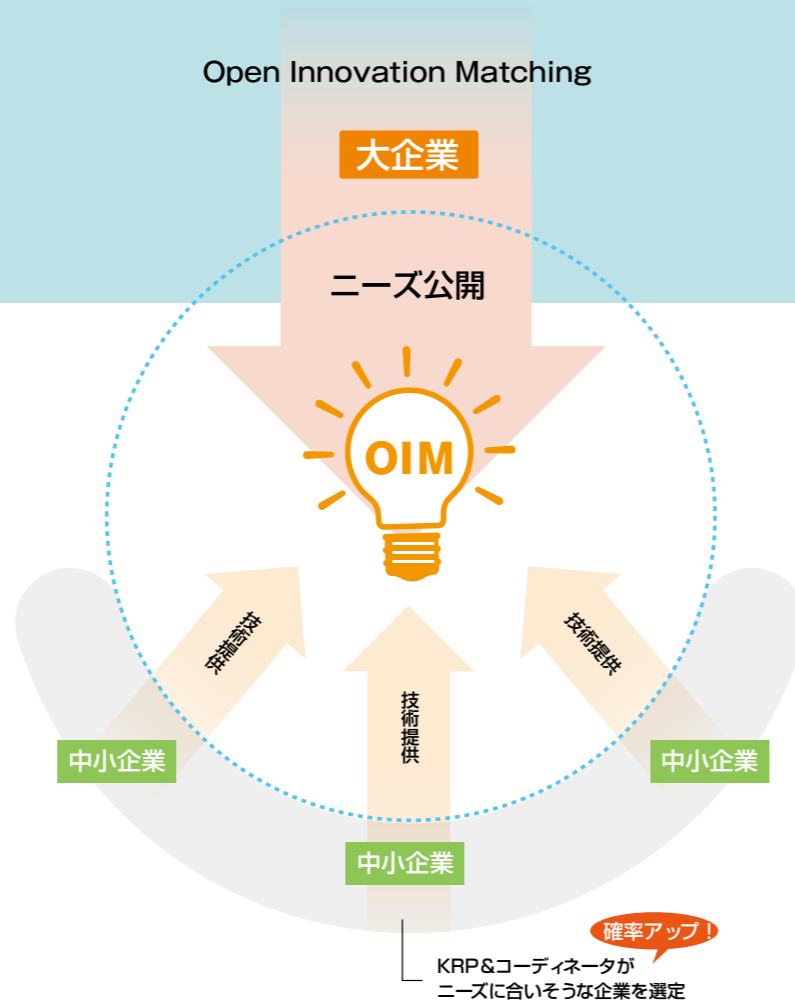


特集:オープンイノベーション・マッチング

価値ある技術タッグへの新たな挑戦 オープンイノベーション・マッチング

大きな可能性を秘めた“ニーズ×シーズ” 強力なビジネスを創る出会いをKRPで

大手企業が自社の技術ニーズを公開し、優れた技術をもつ中小・ベンチャー企業のシーズを幅広く募集、企業連携によって革新的な技術・製品開発のスピードアップとコスト削減を図るオープンイノベーション・マッチング(以下 OIM)。京都リサーチパーク株式会社(以下 KRP)成長企業支援部ではこの動きにいち早く対応し、従来のビジネスマッチング活動を強化。2008年の自動車関連企業を皮切りに、毎回テーマを設定して「OIM 商談会」を開催している。中小企業の情報ストックが豊富な全国各地の産業振興団体担当者や金融機関の関係者ら、コーディネータを集めて事前の技術ニーズ説明会を行い、マッチングの成果を上げるべく支援活動を展開。特色は、応募の声掛けやマッチングの場の設定だけでなく、成約後も進捗状況をフォローしてサポートを継続していくこと。海外企業のキャッチアップが著しい今、日本の産業界の起爆剤として、新たな技術や製品開発への大きな期待と可能性を秘めた OIM。日本の OIM をリードする大阪ガス(株)と、創業以来の意識変革を決断して OIM を推進しようとしている(株)村田製作所の大手2企業のキーマンと、昨年12月の OIM に臨んだ応募企業のインタビューを成長企業支援部のサポート活動とともに紹介。



エリアを限定せずに活動できる KRP の強みを発揮していきたい

KRP のサポートによるビジネスマッチングの成果は、OIM に取り組み始めてから飛躍的に上がっています。ニーズとシーズをピンポイントで合致できる中身の濃さ、技術者同士がダイレクトに成約できるスピードの速さが、最大のメリット。KRP では OIM 成功の鍵を握るといわれるニーズ解説書の作成を、NPO 法人京都イノベーション・リソース(KIR)に依頼。地域産業の仲立ちをしているコーディネータや支援担当者を集めてニーズ説明会を開くなど、最適な技術パートナーとのマッ

チングが1件でも多く成立するように支援しています。シーズ探索をあきらめていた難易度の高いニーズに思いがけなく多くの応募が集中し、驚くほどの成果が上がった時などは非常にやりがいを感じます。地域にしばられない KRP の強みを活かして活動範囲を海外にまで広げ、日本の中小企業に潜在している素晴らしい技術力を、より多くのビジネスにつないでいきたいと思っています。



KRP(株) 成長企業支援部
広域連携推進チームマネージャー 國見 章

コーディネータ OIM はチャンス 京都企業活躍の場を 増やしたい

OIM の機会は少しずつ増え、当財団からも京都府内の高い技術を持つ企業を数社紹介しています。ニーズを理解することが求められますので、各分野の専門知識を持つ職員がニーズ説明会に参加するなどし、京都の企業が活躍する場を増やしていきたいですね。

(公財) 京都産業 21
業務推進役 試作サポーター
西里 修氏

ニーズ
公開企業

muRata 村田製作所

技術公開、社外提携についての意識改革がスタート

中小企業のものづくり技術とのマッチングに期待 技術ニーズ公開の成果第1号がまもなく誕生

「研究開発をスピードアップさせるための社外技術・知識・リソースの取り入れ」と「外部企業・大学・研究所などとのコラボによる新たな市場での事業・商品の創出」を目的として、オープンイノベーションに取り組もうとしている同社。取り組みは昨年度から始まり、村田恒夫社長自らが2013年度の企業方針として「オープンイノベーション」を公言、全社員への意識変革を呼びかけた。前者できっかけの一つとなるのが



全国から38社43案件の応募があった第2回マッチング商談会
(12/5京都、12/9・10東京)

KRP(株)がNPO法人京都イノベーション・リソースと共催するマッチング商談会。昨年3月には6件の技術ニーズを公開。応募27案件(17社)から選定した10件の商談を行った結果、製造プロセス装置にかかわる1件がまもなく採用となる予定。技術企画統括部の牛尾隆一担当課長は「まずまずの成果。食品など未知の業界で新たな気づきもあり、いい結果が得られた」と評価している。12月には20件の技術ニーズを公開して2回目の商談会を開催した。材料から生産まで自社で完結することを強みとしてきた企業だけに、オープンイノベーションへの意識改革の道のりは険しい。「従来のクローズドな体質を変革するにはマッチングで成果を上げることが一番。社内ニーズも対象を絞り込み、直接対話で掘り起こしていく」と牛尾氏。今後は商談会直後に発生する案件の拾い上げなど、フットワークのいいマッチングにも取り組んでいくという。

同社の OIM 推進を担う
技術企画統括部の牛尾隆一担当課長



ニーズ
公開企業

大阪ガス

マッチング商談会のヒット率が飛躍的にアップ

新規テーマ創出、保有技術のビジネス化を目的に 海外ネットワーク、異分野アライアンスにも注力

ガス業界の厳しい情勢のなかオープンイノベーションに着目し、他社に先がけて仕組みづくりを始めた同社では、2010年から全国規模でのマッチングを開始し成果を上げている。2013年度はグループ内7組織から過去最高の80件もの探索依頼があり、東京と大阪を拠点にマッチング商談会を開催。技術戦略部の松本毅オープンイノベーション室長は「技術開発をスピードアップし品質・コストの競争力を上げるには、旧来の“自前主義”から脱却しなけ

ればならない」と、その必要性を強調する。幅広い分野からより多くのシーズが集まるよう、商談会の前に企業情報に詳しいコーディネータ向けの技術ニーズ説明会を開催。通常2%程度といわれるヒット率(事業化や商品化に至った案件数÷面談件数)を、東京・大阪ともに約20%にまで向上させている。電気通信大学(東京都調布市)を通じて、研究開発型企業が集中するTAMAエリア(広域多摩)との技術交流が生まれたことも着実に成果へつながっているという。MOT(技術経営)教育の修了生が各組織のオープンイノベーション担当者になるなど、社内意識も盛り上がってきている。来年度にかけては「グローバル・オープンイノベーション」を掲げて海外ネットワークを強化し、新規テーマの創出やコア技術の深化・ビジネス化等で競争力の向上を目指す。連携ニーズの多い異分野大手企業とのアライアンスも必要とみている。



11/27~11/29に電気通信大学(東京都)にて個別面談会を開催。
16社16案件の面談が行われた。

同社の OIM をスタート時から
牽引する室長の松本毅氏



シーズ
提供企業

株式会社 井元製作所 (京都市上京区)
技術者同士で話ができる
スピードの速さが有難い

高分子分野を中心に理化学機器の設計・製造・販売を手がける同社は、営業担当を置かず技術社員が直接外部に出向いて交渉にあっている。先方の窓口が営業だった場合、技術の話をするまでに時間を要することも多い。村田製作所とのマッチング商談会に臨んだ開発担当の四方宏幸氏は「初対面でここまで話が詰められたのは珍しい」と初参加の印象を話した。あとは社内で若干の実験調査を行うのみ、さらに話を進めていく構えだ。井元俊之社長も「今は世の中にない新しい技術を生み出す時。技術開発のスピードアップのためにこのスタイルが有難い」と、オープンイノベーション・マッチングの利点を実感。今後は取引の少ない地元京都の大企業にも働きかけていきたいとのこと。



代表取締役社長 井元 俊之 氏(右)
開発部 四方 宏幸 氏(左)

シーズ
提供企業

株式会社アイテック (大阪府堺市)
大企業とのマッチングで
技術開発のスケールアップを

超臨界技術を使ったナノ粒子の合成技術をコアとし高い評価を得る同社は、数年前からオープンイノベーションに注目。堺市産業振興センターなどを通じて全国から寄せられる数多くのニーズ情報に、積極的に関わっている。最近では大阪ガス(株)のイノベーションマッチングを通じ、ナノ材料の量産化を可能にする装置を納入し、成果を収めた。目下の開発テーマは、ハイパワー化している製品に使われる「熱を逃がすための複合材料」など「熱」をキーワードにした技術。飯田勝康社長は「大企業とのコラボだからこそ可能な新しい切り口で、大きなイノベーションを生みだせれば」と、イノベーションマッチングによる新たな出会いに期待をかけている。



代表取締役社長 飯田 勝康 氏

“コロンブスの卵”をうみだす
画期的な企業コラボを京都から

KRPでは中小企業の優秀な技術シーズと大企業の技術ニーズをつないで、新たなビジネスを生み出したいとの思いから、2008年にビジネスマッチング活動をスタートさせました。オープンイノベーションの気運が高まり始めた2009年からは、大阪ガス技術戦略部との連携による商談会「オープンイノベーション・マッチング」を開催。ベンチャー企業などのもつ高度な技術力と、新しい価値をつくりだそうとしている大手企業のニーズとを結びつける活動を展開しています。オープンイノベーションの利点は、大企業が新しい価値をつくりだそうとして公開した技術ニーズに、全国どこの企業でも応募できること。KRPのもつ全国規模のネットワークを駆使して異業種異分野の中



KRP(株) 成長企業支援部部長 岡田 直樹

小企業に呼びかけることによって、かつてないマッチングが実現、新たなビジネスを創り出す可能性が大きく広がります。弊社では応募企業の募集から商談の場の設定、その後のフォローまで、人と人との繋がりを大切に地道に根気よく支援していきます。これからも、京都企業のもつ高度な技術やノウハウ、経験を、着実に増やして来たネットワークの中で、さらに活かしていきたい。企業コラボなら「まずKRPに聞いてみよう」と頼りにされる存在を目指します。

大手企業の特許を使った
製品開発のマッチングも支援

近畿経済産業局主催 平成25年度
知財ビジネスマッチングマート事業

12/3開催「中小企業に役立つ技術
～大手企業の開放特許に触れる～」



近畿経済産業局が取り組む大手企業の技術を活かして製品開発を進める事業の一環としてKRP1号館サイエンスホールにてオープン交流会を開催。大手企業6社の技術説明会を開催した。中小企業や金融機関、公的機関のコーディネータなど参加者は100名を超えた。

京都職人工房がCOOL KYOTOに初出展

@京都リサーチパーク



若手職人の果敢なチャレンジに好反応
首都圏における新商品の手応えを実感

ビジネス感覚や企画力を備えた若手職人の育成を目指して、京都府がKISTIC 1階に開設している京都職人工房。「商品開発」をテーマにした活動の成果を、6人のメンバーが「COOL KYOTO 2013」(10月25～27日、東京・赤坂サカス)に出展した。会場には幅広い年齢層の人が訪れ、バイヤーも含めてさまざまな感想や提案が聞かれた。首都圏の顧客反応をリアルに体験でき、今後につながる有意義な機会となった。



竹芸 小倉 智恵美

竹の素材感や工芸ならではの繊細さを活かしたアクセサリーを制作しました。バングルの形状を安定させるために中に薄い銅版を入れるなど、技術的な挑戦にもなりました。50～60代の女性に好評だったり、男性が自分用に購入するなど予想外の反応もあって実りある出展でした。



バングル

着付師/着物スタイリスト 宮川 昌也

ベルトで穿(は)く新感覚の袴を出展。今回新たにリーフレットを制作したことで、機能性という新しいコンセプトを掘り起こすことができました。会場では職人工房の男性メンバー全員が着用、PRに一役買ってくれました。目下海外展開も視野に、本格的な生産体制が整いつつあります。



HAKA-MAXX

漆芸 阪本 修

ゼミクラスでヒントを頂いて、見た目インパクトのあるポップな色に挑戦。彩豊かな5色のコップを制作しました。スタッキングできる形状です。会場では素材が漆であることに驚かれました。手触りの良さや素材感を大切にしながら、アイテムを徐々に増やしていく予定です。



Urushi no Cup

友禅 森本 祐可

京友禅を表紙に使った手作りのアルバム、30～40歳代の子育て世代に向けた提案です。会場で「是非プレゼントに使いたい。」という生の声が聞けてうれしかった。「図柄に込めた意味などのストーリーが伝わる工夫が欲しい」という具体的に有益な意見も頂きました。



「立涌」×クロバー

金工・絵画/アウラ・ロコ代表 富永 大士

「着用できる絵画&オブジェ」として従来から作ってきた商品に、ゼミで学んだグラフィックデザインを参考に3Dを意識したPOPを制作。商品は思っていた通りの層に好評でした。注文が増えてきているので、スタッフも募ってネット販売やフェイスブックなどで購入につながる体制を整えていきたい。



ハート

鏡師 山本 晃久

現代的な空間に合う新しい京仏具の提案です。漆の焼き付けを黒色にせず「磨き」のまま残しました。もともと作りたいと思っていたものを商品として出展できたし会場でも予想通り好評でした。職人工房のメンバーと一緒に取り組んだことが、いい刺激になって頑張れました。



- hana-

【展覧会の予定】

3月末に京都職人工房メンバー全員の活動成果を展覧会形式で発表予定。詳しい内容については京都職人工房 HP やフェイスブックで告知いたします。
ホームページ <http://www.krp.co.jp/sangaku/kobo/>
facebook <https://www.facebook.com/krp.shokunin>
問合せ KRP(株)産学公連携部 白水 dsn-info@krp.co.jp

日本のテクノロジーとアイデアで世界を変える! テクノロジー & ビジネスプランコンテスト in KYOTO 2013



科学技術や斬新なアイデアを活用した新たなビジネスプランを表彰し、応援する本コンテストも回を重ねて3回目。12月2日に最終審査発表会を開催し、多くの参加者が見守るなか各受賞者が決定した。

日時: 2013年12月2日(月) 13:00~17:00(交流会17:30~)
場所: KRP 1号館4階サイエンスホール

主催: KRP(株) 共催: (公財)京都産業21、(公財)京都高度技術研究所
協力: 京都中小企業事業継続支援センター / 京都事業継続・起業支援ネットワーク、
(一社)京都府中小企業診断協会、Impact HUB Kyoto、ShareKARASUMA
後援: 近畿経済産業局、京都府、京都市、京都商工会議所、中小機構近畿、日本貿易振興機構
(ジェトロ) 大阪本部、(公財)大学コンソーシアム京都、(一社)日本ベンチャーキャピタル協会、
(一財)ベンチャーエンタープライズセンター、NPO法人日本MITエンタープライズフォーラム
事務局: (同)SARR

最終審査会には、52件のエントリーから激戦を勝ち抜いた8組が進出。2次審査での指摘事項を踏まえ、改良した応募プランに熱い思いを込め最終発表を行った。審査は白熱し、予定していた賞に加え、急遽、審査員特別賞が設けられた。審査員を務めた松田一敬氏からは、「今回は、京都ゆかりの方や若手の応募が多いことが特徴。いずれのプランも課題はあるが、技術やアイデア面で高い評価を得ており、将来の発展が期待される」と総評が述べられた。

また、基調講演では日本テクノロジーベンチャーパートナーズ投資事業組合代表の村口和孝氏が、投資家目線での講演を行い、参加者や応募者が聞き入った。

第1回「目の輝き」成果発表会開催

京の伝統技術と先端技術の融合による新たな“知恵産業”創出に期待



京都市産業技術研究所知恵産業融合センターでは、平成22年11月の発足以来、「伝統産業と先端産業の融合」や「新たな気づき」による新技術・新商品の開発による「知恵産業」の創出に取り組んできた。本年度から“知恵産業”をキーワードに、産技研の技術を活用した新技術・新商品開発等を行った企業を「知恵創出“目の輝き”」企業として認定することとなり、第1回成果発表会が開催された。

発表会は門川大作京都市長、立石義雄京都商工会議所会頭の挨拶に始まり、市長から認定企業4社に認定書が授与され、また渡邊隆夫京都ものづくり協力会会長から地元産業界に貢献した産技研職員2グループに会長賞が授与された。続いて認定企業、表彰者による特別講演と成果発表が行われ、満席の165人が新しい“知恵ビジネス”の誕生秘話に熱心に耳を傾けた。

最優秀賞 受賞プラン: Copy - A New Frustration Free CAPTCHA

Copy Inc. 森下将宏氏
「ログイン時のセキュリティ認証(CAPTCHA)に文字入力ではなくパズルを用いるなど、認証ステップに“楽しさ”をもたらすことで、効果的な不正ログイン対策ソリューションを開発。メンバーにとってゆかりの深い京都での受賞を光栄に思う。今後は日本でのデファクトスタンダードをめざすとともに、今回の受賞を世界進出への足掛かりにしていきたい。」

受賞者

- ・最優秀賞 Copy Inc.
- ・優秀賞 (株)ジーンクエスト 高橋 祥子
- ・京都で起業賞 CONNEXX SYSTEMS(株) 塚本 壽
- ・学生賞 京都産業大学 中西 希
- ・審査員特別賞 小樽商科大学 保田ゼミ

facebookに写真掲載中! <http://www.facebook.com/krp.corp>

日時: 2013年11月14日(木) 13:00~16:40(交流会17:00~)
場所: 発表会 / 京都市産業技術研究所 2階 多目的ホール
交流会 / KRP 1号館1階 レストランPATIO
主催: 京都市、京都ものづくり協力会 共催: 京都商工会議所
後援: 近畿経済産業局、京都産業育成コンソーシアム、
京都産学公連携機構、(公社)京都工業会、(公財)京都高度技術研究所、
(公財)京都産業21、KRP(株)



知恵産業融合センター
センター長 今井 健氏

「知恵創出“目の輝き”」企業認定においては、「伝統技術と先端技術の融合」、「新たな気づき」、「産技研の技術指導」の3基準のうち1つでもクリアしていることが条件となります。認定は来年以降も継続していく予定です、そのためには新しい事例がもっと必要ですが、研究開発はすぐに成果が出るものではないので、支援体制のさらなる充実が課題ですね。

今後は、京都工業会、京都商工会議所、京都高度技術研究所、そして産技研の4団体がそれぞれの得意分野を活かしたオール京都としてのさらなるサポートが必要です。来年度からは企業マッチングにもっと力を入れ、ガイドブックの制作等、広報にもエネルギーを注いで利用者増加に努めるとともに、知恵産業のさらなる推進に繋げていきたいと考えています。

KRPeople

KRPeopleはKRPエリアを拠点に活躍するすべての人、その意外な素顔に迫ります



中央技研株式会社
(ASTEM棟 7階 VIO)

代表取締役 河野 尚久氏

宮崎市出身。京都大学工学部卒業後、中央機械株式会社に入社。設備関係に携わり、主にフレキシブル基板にメッキを施しパターンを形成する機械を担当。8年間の勤務の後、会社の後押しを受けて2013年10月に独立。

カスタムメイドの産業設備を一括で提供。

弊社は産業機器、特に電子部品関係の製造工程における産業設備、電気機械を製造する、いわゆる設備業。この分野の設備・機械はメーカーごと、工程ごとのカスタムメイドになるので、ゼロからの企画提案、電気および制御の設計等を一括して全部請け負い、設備として生産可能な状態でお渡しするところまでが我々の仕事です。前の会社では電子部品の中でも特にメッキ関係をメインに手掛けてきましたが、それ以外のプロセスももっと幅広くやりたいという思いで独立・起業しました。

VIOに入居した理由の一つは、サポート体制ですね。工場を持たないファブレスからスタートするつもりだったので、とりあえず事務所だけを探していました。新会社でお客さんに新たな提案をする際、学術的裏付けや実験レベルでの実績などを提示したいと考えていたので、それをサポートしてくれるのは、さまざまな支援機関もあるKRP地区かなと思い、伴走支援にも期待できるVIOへの入居を決めました。

理想的なものづくりのカチを追求していきたい。

現在のメンバーは3人で、前の会社から一緒に独立しました。

私は企画営業を担当し、あとの2人は営業の要素も持ちつつ、それぞれ電気回路制御設計と機械設計を担当。この3人がいたら提案も製造もできる、そういう構成です。2人のほうが先輩なのですが、学生時代はアメフト部でいちばん体が大きく、表に出て踏んだり蹴ったりされても多分こいつなら大丈夫だろうというので、私が代表を務めています(笑)。

会社設立に際し、私たちは「理想的なもののづくりのカチを追求していこう」と話し合いました。電子部品業界は特に商品の入れ換わりが早く、人と人がきちんと向き合う暇もないほどの競争にさらされています。そんななかでも、ものづくり自体が発展継続していくためには、お互いがじっくりと向き合い、確認し合いながら取り組める体制も必要だと考えています。目の前の案件を大事にしつつも、この設立の趣旨を忘れることなく理想を追求していきたいです。

休みの日は子どもと遊ぶ時間をつくって…と思うのですが、今はちょっと難しいですね。7歳と4歳の娘がいて、可愛いですよ(笑)。でも、設備業はお客さんが生産していないときの作業が基本だから土日の仕事も多いですし、休みが取りにくいんです。当面の目標は1年以内に工場を借りて、自分たちで製造できる体制を整えること。きつと実現します。

PickUp!

この3人が揃えば企画から設計、製造、据え付け、メンテまで一貫しての管理が可能な最強のメンバー。ワンストップでのトータルソリューション提案ができるのが弊社の強みです。



左から、機械設計担当の大崎裕史氏、河野氏、制御設計担当の加地弘幸氏

Newcomer

新しい入居企業様の紹介

ASTEM棟7階 VIO
CENTRAL TECHNOLOGY CO. LTD.
中央技研株式会社
CTR Central Technology & Research
中央技研株式会社
河野 尚久 代表取締役

電子部品生産に使用される装置設備のハード/ソフト一貫提供を得意とし、お客さまの「最適なエンジニアリング」を可能にします。フレキシブル基板の表面処理装置、その他、各種搬送機構、制御・生産管理システムなど。

●TEL / 075-315-9055
●FAX / 075-315-9056
●MAIL / info@ctr-j.com

9号館6階
ひとの
ときを、
想う。 JT
日本たばこ産業株式会社 京都支店
●TEL / 075-315-0031 ●FAX / 075-315-0076

JTグループは、国内及び海外たばこ事業、医薬事業、飲料事業、加工食品事業を中心としたさまざまな事業活動ほか、社会への取り組みや企業イベント・企業スポーツを展開しています。このような活動を通じ、お客様にとって価値ある「JTならではのブランド」をお届けし続けていきます。

8号館3階
shimogamo co.,ltd.
株式会社 shimogamo
大村 裕視 代表取締役

建築、設計、施工、内装
●TEL / 075-325-0173
●FAX / 075-325-0178
●MAIL / shimogamo_net@ybb.ne.jp
http://shimogamo-kyoto.com/

4号館3階
全国リサイクルブランド
伊藤商店
株式会社伊藤商店 貿易部
伊藤 博永 代表取締役

金属全般のリサイクル。貿易部は海外、特にアジア圏の国々と輸出入の取引を伸ばすために設立しました。需要と供給のバランスを考えて有限な金属資源を大切にしています。
●TEL / 075-321-5509
●FAX / 075-321-5579
●MAIL / ito@iron-ito.co.jp
http://www.iron-ito.co.jp/

10/23

イノベーションジャングルPJ

「海外なう2013」開催!

スペイン、アイルランドでの企業誘致を中心に

欧州では、元気な起業家を歓迎し積極的に誘致している。海外進出の「現在」を知り、次なる一手へのきっかけとしてほしいとの思いから、(公財)京都高度技術研究所と共催している本セミナー。今回は、スペインマラガ市の市長とアイルランド政府産業開発庁の日本代表を招き開催。50名を超える参加者が熱心に耳を傾けた。



11/8

『シリコンバレー 流マーケティング』
(イノベーションジャングルPJ)

世界を視野に入れて漕ぎ出せ! 講師はマーク・カトウ氏



マーケティングの専門家であるマーク・カトウ氏を特別講師に迎えて開催。日本市場限定ではない、世界を対象にしたマーケティングのための発想、視点を解説。「日本の技術はまだ世界一。マーケティングをしっかりとすれば、世界で売れる製品が作れる」と力強く語った。

11/15 ~ 11/17

Startup Weekend Kyoto 2013

「愛」のペアチケットサービス
「Ticke 2」が優勝!



6回目を迎えた本イベント。福岡、仙台と同時開催し、25名が参加。3日間でサービスのプロトタイプ制作まで行い、最終プレゼンに挑んだ。6つのチームが旅行、観光や健康レシピなどそれぞれ魅力あるサービスを提案。カップルにペアチケットを提供する提案をした「Ticke2」が優勝し、参加者、メンター、運営スタッフの熱い思いが交錯する3日間が終了した。

- KRP成長企業支援部 <http://www.krp.co.jp/sks/>
- 町家日記 <http://www.krp.co.jp/machiya/blog/>

12/11

第36回 宇治ベンチャー企業
育成工場セミナー

『ビジネスは聴き出してナンボ!』



日本唯一のプレゼンテーション専門コンサルティング企業の代表、新名典氏に二度目の登壇を頂き、宇治市産業振興センターにて無料セミナーを開催。対話のなかで相手との接点を探し、共感し、反応することがいかに難しく、かつ大切であるか、実例を交え講演頂いた。

詳しい内容はWEBでチェック!



新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては健やかな新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年は、リーマンショックや東日本大震災による経済の低迷から抜け出しつつあるような兆しが表れた年でした。京都におきましては、京都中小企業事業継続支援センターや京都市成長産業創造センター、京都大学デザインスクールデザインイノベーション拠点の開設など、新たなイノベーションを生む仕組み作りが着々と進みつつあります。京都各界のトップが集う「京都の未来を考える懇話会」から発表されました「京都ビジョン2040」におきましても、イノベーションの重要性が謳われております。当社といたしましても、この地区が地域や世界と連携しながら、日本、そして世界へイノベーションを巻き起こす拠点「イノベーション・ハブ KRP (iHub KRP)」となるべく、最大限の努力を行ってまいります。

当地区は、本年、おかげさまで開設25年を迎えます。ここまで歩んでこられたのは、ひとえに入居企業・産業支援機関の皆さまならびに、地元の産学公の皆さまからのご支援・ご協力のたまものです。改めて、深く感謝・御礼申し上げます。今後、この「iHub KRP」が、地区内の皆さま、日本、そして世界から「I have KRP. (KRPがあるさ)」と頼っていただける、活気と魅力に溢れたリサーチパークへ進化していくことを全社員一丸となって目指して参ります。どうぞご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



京都リサーチパーク株式会社
代表取締役社長 森内 敏晴

この新しい年が皆さまにとって、より嘉き年となりますことを心から祈念して、新年の挨拶とさせていただきます。

KRP東地区 京都府産業支援センター内
2つの拠点オープン 開所式開催

「京都次世代ものづくり
産業雇用創出プロジェクト推進センター」

京都府と京都市が共同で進める「京都次世代ものづくり産業雇用創出プロジェクト」推進センターを開設。3年間で2,000人の雇用を創出する同プロジェクトの推進体制を強化した。



「大学連携試作技術開発拠点」

京都府では、中小企業による試作産業の振興に向け、大学と中小企業の連携を図るための「大学連携試作技術開発拠点」を開設。京都工芸繊維大学と共同で中小企業の視点に立った試作産業の育成を目指す。



KRP-PRESS アンケート実施中!

抽選で100名様にQuoカード1,000円分プレゼント
(2014年1月31日まで)

<http://www.krp.co.jp/pub/>

配送・停止・変更のご希望は、
右記内容を明記の上
krppress@krp.co.jpへ

- 配送 ① 〒、住所 ② 団体名 ③ 部署名 ④ お名前 ⑤ TEL/FAX ⑥ メールアドレス ⑦ 「配送希望」 ※定期配送も可能です
停止 ⑧ ご登録No.(封筒宛名ラベル右下) ⑨ 「配送停止希望」
変更 ①~⑥のうち変更箇所と⑧のご登録No.

vol.134
Jan
2014

KRPRESS www.krp.co.jp

○編集・発行/京都リサーチパーク株式会社 〒600-8813 京都府京都市下京区中堂寺南町134番地 (ASTEM棟4階)
TEL:(075) 315-8342 FAX:(075) 322-5348
○編集長/鈴木 和哉 ○取材・編集・デザイン・制作・印刷/株式会社情通レゾナンス ○配送管理/有限会社セクレタリアット

KRP News Mail 配信中

毎月第2・4火曜配信中
<http://www.krp.co.jp/pub/maga.html>